

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係

TEL23-3069

思い出に残る第23回夏至祭

(6月18日)

第23回を迎える夏至祭では、今年初の試みで、太美駅前のスウェーデンプラザでオープニングセレモニーを開催。

とうべつ太鼓演奏の後、バイオリンやアコーディオンの奏でる曲を先頭に、民族衣装に身を包んだ旗手が、レクサンド市旗や、当別町旗を手に持ち、沿道の観客の声に応えながら行進し、スウェーデン橋の欄干に旗を掲げました。

スウェーデンヒルズ会場では、当別中吹奏楽部、アンサンブルファミリーによるグリーンコンサートが開か

れ、多くの観客が聞き入り、20人がかりで立ち上げた10メートルの白樺の柱「マイストング」の周りで行われたフォークダンスの集いでは、スウェーデンからの留学生らが輪になって踊りました。

また、当別テニス協会主催の夏至杯、町民テニス大会も開催されました。

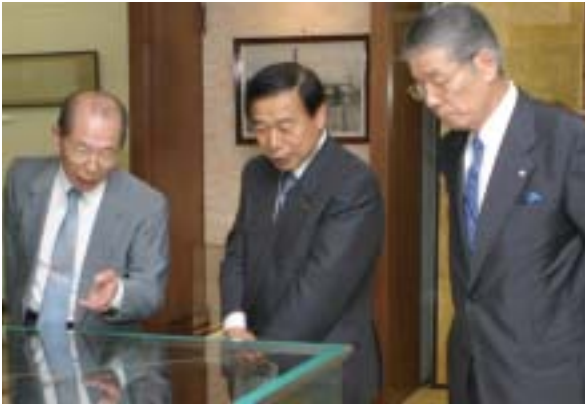
スウェーデンガラス製品の販売には多くの人だかりができ、カフェテリアでは北欧プレートなどの夏至祭にちなんだメニューも並び、約4,000人が思い思いに夏至の一日を楽しみました。



伊達の縁結び 宇和島市との交流

(6月16日～19日)

中央が石橋宇和島市長



伊達政宗の長男が宇和島の初代当主、四男が岩出山の初代当主であった縁で、三月の岩出山閉町式の折に交流を確認した愛媛県宇和島市から、石橋寛久市長が来町。

市長は伊達記念館視察の後、役場を訪問し、交流が両市町の活性化になることを希望すると挨拶しました。

また、18日には市長と浅田市議会議員ほか8名の市議会議員らによる訪問団が夏至祭や医療大学の九十九祭を視察しました。

7月には、町の有志による宇和島訪問が予定されており、草の根の交流が進みそうです。

最後の運動会 蕨岱小学校

(6月11日)



蕨岱小学校、保育所が今年度いっぱい閉校となるため、今年がこの校舎で行う最後の運動会となりました。

PTAや老人クラブなどで作る実行委員会が準備し、児童15人、園児5人と地域の方230人が一体となって運動会に参加し、最後の運動会を盛り上げました。

子どもたちの紅白対抗玉入れ、卒業生も参加して地域の方が伴奏を行ったヨサコイソーラン、児童から地域の方まで一緒に走った蕨岱連合リレーなど、各年代で参加でき、笑顔の絶えない運動会でした。

初夏に舞う ふとみ元風会

(6月10日)



夏の北海道を彩るイベントとしてすっかり定着した、第15回YOSAKOIソーラン祭りに、今年で6回目の出場となる、ふとみ元風会が、太美駅前のスウェーデンプラザで出陣式を行いました。

元風会のメンバーは、札幌の大通公園のステージよりも緊張するというこの会場で、地元の温かい声援を受けながら力強い舞いを披露し、札幌会場に向かいました。

他にも当別関係では北海道医療大学のチームも祭りに参加しました。

まちを花でいっぱい ふくろう街道

(6月上旬～中旬)



6月上旬から中旬にかけて、当別の景観をきれいにしようと、「ふくろう街道景観保存会」がふくろう街道(正式名:道道当別浜益港線)沿線の植栽を行いました。この活動は今年で2年目になります。

延べ486人の参加者の手によって植えられたマリーゴールド、サルビア、ペチュニアなどは、夏から秋にかけて色とりどりの花を咲かせます。